

ごもん

歌原しは 歌
梁田貞曲

1. いそいでーくれば みえた みえた
 2.
 3.
 4.
 5. ごもんがー みえた うれしや うれしや
 6.
 7.
 8.
 9. ごもんの一 なかに あれ あれ みえる
 10.
 11.
 12.
 13. せんせい が みえる うれしや うれしや
 14.
 15.
 16.

急いで 来れば
 みえた みえた
 ご門が 見えた
 うれしや うれしや
 ご門の中に
 あれ〜見える
 先生が みえる
 うれしや うれしや

ごもん

昭和二年
十二月九日
作

土川五郎作

一、いそいでくれば……圓形右向をなし蹠足七歩

みえた……左へ三歩前方を見る

みえた……右へ三歩前方を見る

ごもんが……左足一步前に上體を左に傾け兩脇

曲げ前膊を兩側に立て掌を向き合せ前方を見

る

みえた……右足一步前に上體を右に傾け兩手を

前の如くあげて前方を見る

うれしや……内方を向き體前にて拍手一回右足

一步右へ上體を右に傾け兩手を左右に開き頭

を右に傾く

うれしや……拍手一回上體を左に傾け頭を左に

傾け兩手を開く

ごもんの……全生連手した内方に進む

なかに……後退す

○豫め五人乃至三人を一組とし其内先生とな

るべきもの一人を定め「なかに」て後退す

る時先生となりたるものは足踏しつゝ背面

を向く即ち他の四人と相對する

あれ／＼みえる……生徒は上體をやゝ前に屈し

右食指にて對したる先生を二回次にこまかく

三回指す。先生は右手にて招く

せんせいが……兩方ともに禮をなす

みえる……生徒は前進し先生は後退す

うれしや…：兩方共に始めに左側下方にて次に
右下方にて拍手す

うれしや…：生徒は兩手を前に先生を抱く如く
して前進す

二、歌なくしてリズムによつて

1 2 …：五人づゝ輪になり連手のまゝ左へ行進
す

3 4 …：右へ三歩づゝ二回行進す

5 6 …：圓心の方へ行進して後退す

7 …：左側にて拍手一回次に右側にて一回拍手
す

8 …：足踏三回

9 10 …：再び1より8迄を繰返す

第一歌の終りたる時15 16 小節を間奏として其間
に五人又は三人が丸く輪を作る而して第二に

移る

第二終りて又15 16の間奏にて全體一つの輪に歸
る

戸を繰れば

はや子を負うて

冬の朝

再

春淺き鹽の

かげんや

木の芽漬

木志